

平成 22 年度 日本水産工学会学術講演会プログラム
(平成 22 年 5 月 22 日(土) ~ 5 月 24 日(月))

会 場

- ◆ 総会・一般講演 福井県立大学海洋生物資源学部(小浜キャンパス)
交流センター 多目的ホール(第 1 会場)
103 教室(第 2 会場)
〒917-0003 小浜市学園町 1-1 (TEL 0770-52-6300)
- ◆ 懇親会 ホテルアーバンポート華双樹 (<http://hanasouju.com/>)
小浜市白鳥 72-1 (TEL 0770-53-2001)
- ◆ シンポジウム 交流センター - 多目的ホール(第 1 会場)

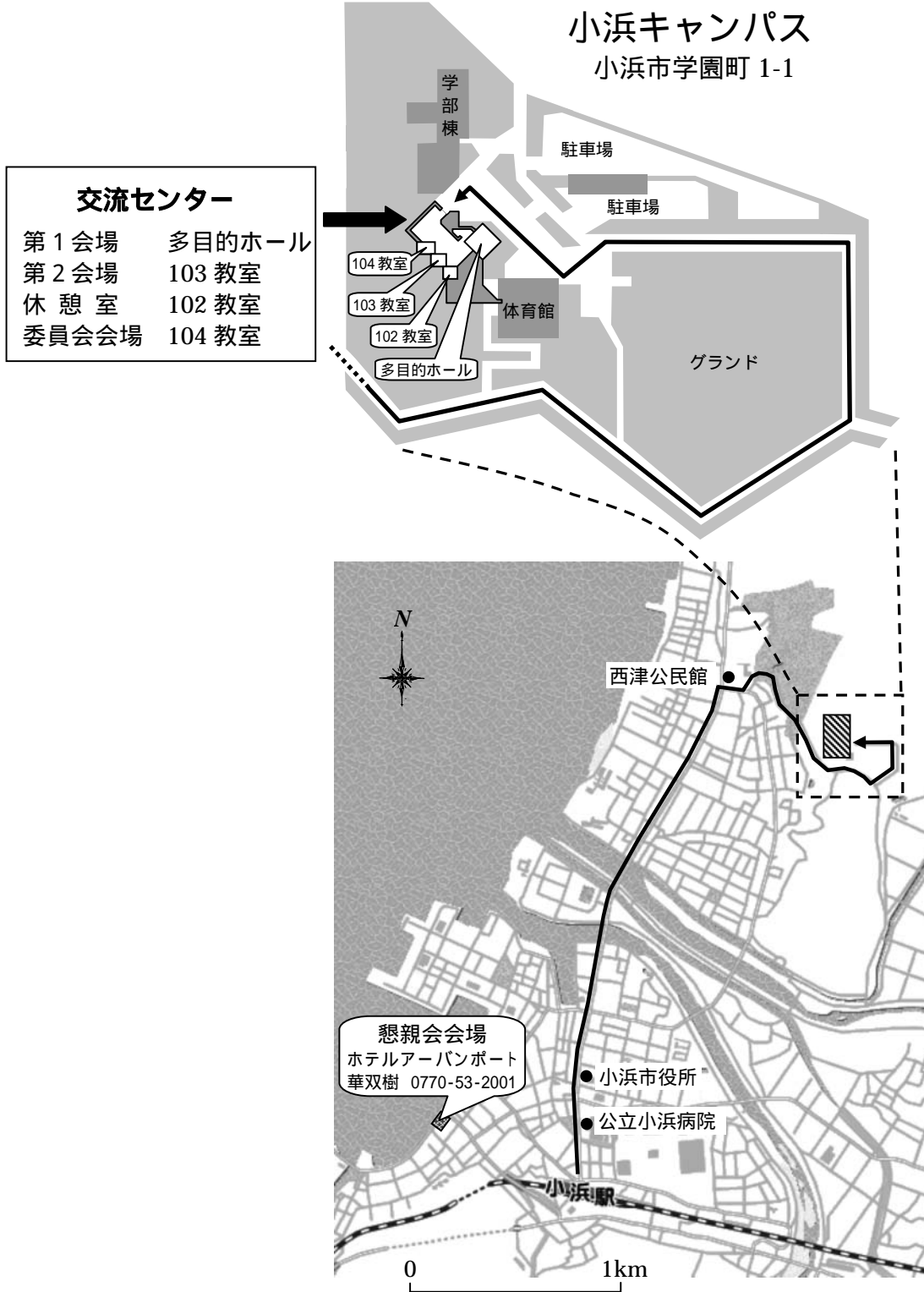
日 程

- ◆ 5 月 22 日(土)
 - 10:00~11:00 企画委員会(交流センター 104 教室)
 - 11:00~12:00 理事会・評議員会(交流センター 104 教室)
 - 13:00~14:00 総会・学会賞授賞式(交流センター 第 1 会場)
 - 14:00~15:00 学会賞受賞者講演(交流センター 第 1 会場)
 - 15:15~17:00 一般講演(第 1 会場、および第 2 会場)
 - 18:00~20:00 懇親会(ホテルアーバンポート華双樹)
- ◆ 5 月 23 日(日)
 - 09:00~12:00 一般講演(第 1 会場、および第 2 会場)
 - 13:00~16:15 一般講演(第 1 会場、および第 2 会場)
- ◆ 5 月 24 日(月)
 - 10:00~16:00 春季シンポジウム(第 1 会場)
「若狭湾および周辺海域の漁場環境と漁場造成の現状と課題 - 沿岸から沖合まで」

研究発表方法に関する注意とお願い

- ◆ 講演は WindowsXP で作動する Microsoft Power Point2003 でお願いいたします。これ以外のソフトウェア、もしくは上位バージョンでご用意されている場合は、事前に Microsoft Power Point2003 で作動確認を必ずお願い申し上げます。
- ◆ 講演会場には、PC を 2 台(うち予備 1 台)用意いたしますので、演者の方は、午前、および午後のセッション開始前に、各自で記憶媒体(メモリースティック等)をお持ちになり、PC にアップロード(ファイル名は講演番号(氏名))をお願いいたします。
- ◆ 1 題あたりの講演時間は、発表 12 分・質疑応答 3 分の計 15 分(交代時間も含む)となりますので、時間厳守のほどお願いいたします。
- ◆ 発表開始の後、10 分で予鈴を 1 回、定刻 12 分で 2 回鳴らして発表時間の終了をお知らせします。その後は、1 分超過毎に鈴を鳴らします。
- ◆ 活発な質疑応答をお願いいたしますが、発表時間に制約があるため、更なる質疑は各発表の合間、懇親会会場等にて個々に行っていただきますようお願いいたします。

会場案内図



平成 22 年度 日本水産工学会学術講演会 講演プログラム
第 1 会場

5 月 22 日 (土) 午後

座長 山根猛 (近畿大学農学部)

15:15 101 異体類を対象にした貝殻増殖礁の効果

木代寛士・藤澤真也 (海洋建設株式会社), 柴田和之 (福岡県漁業協同組合連合会),
後川龍男 (福岡県水産振興課), 伊藤靖 (財団法人 漁港漁場漁村技術研究所)

15:30 102 魚礁蛸集魚の規模による魚種特性

山内繁樹 (北海道立中央水産試験場), 峰寛明 (株 エコニクス),
清水晋・藤森康澄・木村暢夫 (北海道大学大学院水産科科学研究院)

15:45 103 単位魚礁に対する蛸集量及び漁獲推定に関する試験調査

山内繁樹 (北海道立中央水産試験場), 峰 寛明・林田健志 (株 エコニクス),
清水晋, 藤森康澄, 木村暢夫 (北海道大学大学院水産科科学研究院)

16:00 104 浮魚礁におけるカツオ・マグロ類の蛸集・滞留効果

伊藤 靖, 三浦 浩 (財団法人 漁港漁場漁村技術研究所), 上田昌行 (株式会社 水土舎)

座長 明田定満 (独立行政法人 水産総合研究センター研究推進部)

16:15 105 高層魚礁の水理学的湧昇効果に関する実験的研究

高山博史 (神鋼建材工業株式会社), 堅川勝三 (株式会社中山製鋼所), 長野圭祐 (日本漁場シス
テム株式会社), 洞洋介・大竹臣哉 (福井県立大学)

16:30 106 鞍状地形の湧昇流発生機構に関する研究

佐藤史織 (福井県立大学大学院), 大竹臣哉 (福井県立大学)

16:45 107 水中構造物の背圧勾配より発生する湧昇流と漁場形成

瀬戸雅文 (福井県立大学), 青山勸・天谷堅司 (サカイオーベックス株式会社)

5 月 23 日 (日) 午前

座長 綿貫啓 (アルファ水工コンサルタンツ)

9:00 108 物理的外力 (風、潮汐エネルギー) による潜入性貝類の斃死原因の究明

白相鎬 (国立水産科学院 西海水産研究所), 李文沃 (全南大学校)

9:15 109 韓国の西海岸の油流出事故がマカギ (*Crassostrea gigas*) に与える影響について

白相鎬・全濟千・林鉉正・姜熙雄・張寅權 (国立水産科学院 西海水産研究所)

9:30 110 韓国南海岸の駕莫湾 (Gamak-Bay) における海水交換

李文沃 (全南大学校), 金炳国 (全南大学校)

9:45 111 湾口部が狭量な海域の海洋構造の推定

藤田伸二 (長崎大学水産学部), 曾根謙一 (愛媛県水研センター), 玉井大策 (高知県庁)

座長 藤田伸二 (長崎大学水産学部)

10:00 112 能取湖の水理特性と貧酸素水塊の上昇機構

井上佑奈 (福井県立大学大学院), 瀬戸雅文 (福井県立大学), 多田匡秀・品田晃良 (北海道立網走
水産試験場), 渡部貴聴 (網走市役所), 川尻敏文 (西網走漁業協同組合), 巻口範人 (北海道栽培
漁業振興公社)

10:15 113 ズワイガニ人工種苗を用いた浮遊幼生動態予測技術の開発

小西望美 (福井県立大学大学院), 瀬戸雅文 (福井県立大学)

10:30 114 播磨灘海域におけるマコガレイの生息場ネットワークをふまえた漁場整備

伊藤靖, 三浦浩 (財) 漁港漁場漁村技術研究所, 中桐栄 (兵庫県農政環境部農林水産局水産課),
安信秀樹 (兵庫県立農林水産技術総合センター水産技術センター), 岡崎知治 (岡山県農林水産部水
産課), 萱野泰久 (岡山県水産試験場), 井脇幹生 (香川県農政水産部水産課), 山田達夫 (香川県水産試
験場)

10:45 115 北方沖合海域における水質予測モデル構築のための生物パラメータ取得の一実験

林田健志・峰寛明・坂本和佳 (株式会社エコニクス), 山本潤・渡辺光弘 (独立行政法人土木研究所
寒地土木研究所), 西田芳則 (北海道立中央水産試験場), 工藤勲 (北海道大学大学院水産科学研究院)

座長 寺脇利信(富山水研)

- 11:00 116 人工湧昇流による磯焼け対策を進める検討プロセスについて
桑原久実(水産総合研究センター), 綿貫啓・富澤伸樹(アルファ水工コンサルタンツ), 安藤亘・石岡昇(水産土木建設技術センター), 梅津啓史(水産庁)
- 11:15 117 九州地方に見られる湧昇海域周辺の藻場分布調査
綿貫啓・富澤伸樹(アルファ水工コンサルタンツ), 新井章吾(海藻研究所), 桑原久実(水産総合研究センター), 安藤亘・石岡昇(水産土木建設技術センター), 梅津啓史(水産庁)
- 11:30 118 電気パルスによる植食性魚類の応答特性について
桑原久実(水産総合研究センター), 綿貫啓(アルファ水工コンサルタンツ), 山内信(和歌山県農林水産総合技術センター), 熊谷敦史(テクノパルス)
- 11:45 119 漁業者による磯焼け対策の取り組みについて(その3)
安藤亘(社団法人水産土木建設技術センター), 戸高留治(大分県漁業協同組合名護屋支店), 渡辺耕平(西日本オーシャンリサーチ), 中嶋泰(オフィスMOBA)

5月23日(日)午後

座長 桑原久実(水産総合研究センター 水産工学研究所)

- 13:00 120 長崎県壱岐市大島における磯焼け対策技術の検証
柴田早苗・青田徹(株式会社不動テトラ), 山仲洋紀(壱岐栽培センター), 山本方人(株式会社不動テトラ)
- 13:15 121 ウニの進入防止バリアとしての藻類マットの付着阻害効果
川俣茂(独立法人 水産総合研究センター水産工学研究所)
- 13:30 122 鹿児島県南さつま市笠沙町産フタエモクの耐砂性
川俣茂(独立法人 水産総合研究センター水産工学研究所), 吉満敏(鹿児島県水産技術開発センター)
- 13:45 123 ハタハタ産卵基質となる人工海藻の効果について
渡辺光弘(独立行政法人 土木研究所寒地土木研究所 水産土木チーム), 東館雅樹(北海道開発局 留萌開発建設部 留萌港湾事務所), 土門史紀・村上俊哉(株式会社エコニクス)

座長 安藤亘(水産土木建設技術センター)

- 14:00 124 海藻着生プレートと食害防止ネットを用いた対馬市豆酛海域における核藻場造成について(その3)
鈴木裕明, 川畑三彦, 園部幸治(住友大阪セメント(株)), 小島一, 犬束敬史((財)対馬栽培漁業振興公社)
- 14:15 125 魚類の食害防止ネットを用いた核藻場造成実証実験について(その5)
鈴木裕明, 川畑三彦(住友大阪セメント(株)), 内田佳孝, 近藤啓一, 坪田晃誠(九州電力(株)), 松尾照久((社)水産土木建設技術センター長崎支所), 山仲洋紀(壱岐栽培センター)
- 14:30 126 沿岸構造物における藻場の形成要因に関する研究
清水恵理子(海洋環境デザイン(株)), 黄金崎清人(日本データサービス(株)), 佐藤仁・渡辺光弘(独立行政法人 土木研究所寒地土木研究所), 鳴海日出人(海洋環境デザイン(株))
- 14:45 127 金浦漁港沖防波堤マウンドにおける藻場造成
伊藤靖・三浦浩(財団法人 漁港漁場漁村技術研究所), 吉永聡(株式会社 水土舎), 斎藤良一・古戸幸太郎(秋田県由利地域振興局農林部)

座長 川俣茂(水産総合研究センター 水産工学研究所)

- 15:00 128 神通川河川敷を利用した素堀飼育池に繁茂する水草群落の消長
寺脇利信・松村航・若林信一・田子泰彦(富山水研)
- 15:15 129 溝加工を施した大型異形消波ブロックの生物の蝸集状況について
河野晴行・近藤信一郎(三省水工株式会社), 荻野静也(株式会社 ジーエスエンジニアリング)
- 15:30 130 簡易消波施設による波・流れの制御とベントス群集構造の変遷
南部亮元((独)水産総合研究センター水産工学研究所), 田中良男((株)東京久栄), 齊藤肇・桑原久実((独)水産総合研究センター水産工学研究所)
- 15:45 131 アサリ稚貝吸引装置の開発について
桑原久実(水産総合研究センター), 新井章吾(海藻研究所), 岡本博(東亜土木), 石倉正夫(中海漁

協), 奥森隆夫(未来守りネットワーク)

- 16:00 132 鹿児島県徳之島におけるサンゴ増殖に関わる地域での取り組み
市村康(日本ミクニヤ(株)), 池村茂(徳之島漁業協同組合)

第2会場

5月22日(土)午後

座長 高木力(近畿大学農学部)

- 15:15 201 駆け廻し式底曳網におけるハタハタの網目選択性
宮嶋俊明(京都海洋セ), 山崎淳(京都海洋セ), 東海正(海洋大)
- 15:30 202 Codend mesh selectivity for Japanese horse mackerel and whitefin jack from trouser trawl experiments
Mohamed Salah Mahjoub・Tadashi Tokai・Toshifumi Hayashi・Daisuke Shiode
(Tokyo University of Marine Science and Technology)
- 15:45 203 高揚力オッターボードを用いた底曳網の模型実験
熊沢泰生(ニチモウ), 胡夫祥(海洋大), 木下弘実(ニチモウ), 不破茂(鹿大水), 東海正(海洋大)
- 16:00 204 宮城県亙理地区の小型底びき網における現用漁具と新型漁具の水中形状と抵抗
藤田薫・長谷川誠三・山崎慎太郎・溝口弘泰・三好潤(水産総合研究センター水産工学研究所),
芳賀圭悟・前川文人(宮城県仙台地方振興事務所), 浅野勝志(宮城県水産技術総合センター),
松下吉樹(長崎大学水産学部)

座長 胡夫祥(東京海洋大学 海洋科学部)

- 16:15 205 模型実験による浮沈式生簀の挙動解析-余剰浮力のアンバランスによる生簀の姿勢変化-
永松公明(水産大学校), 高木力・山根猛(近畿大学農学部), 井上悟(水産大学校), 浅海茂(古野電
気), 沼口隆之(日東製網), 小林次彦(TAFCO)
- 16:30 206 可撓性ホースを用いた生簀浮沈技術の開発
北澤大輔(東京大学生産技術研究所), 水上洋一(テックYM), 磯部正明(シーネットM・I),
木下弘実・平山完・武内要人・池田怜史(ニチモウ株式会社)
- 16:45 207 可撓性ホースを用いた箱網揚網技術の開発
北澤大輔(東京大学生産技術研究所), 水上洋一(テックYM), 磯部正明(シーネットM・I), 西郷清彦・
平井良夫・中川智之・戒井章・細川貴志(日東製網株式会社), 泉澤宏(網代漁業株式会社)

5月23日(日)午前

座長 升也利一(水産総合研究センター 水産工学研究所)

- 9:00 208 二重反転プロペラを装備した海外巻網漁船「日本丸」の省エネ効果
酒井久治(海洋大), 大島達樹・伊加聖・伏島一平(開発セ)・三浦文平(日本丸)
- 9:15 209 半滑走型漁船における積載重量およびトリムが燃料消費量に及ぼす影響
酒井久治・和田天志(海洋大), 溝口弘泰・三好潤・長谷川勝男(水工研)
- 9:30 210 小型漁船の船底外板の汚れが燃料消費量に及ぼす影響
森俊之・和田天志・酒井久治(東京海洋大学)
- 9:45 211 2段減速機を装備した小型漁船の燃料消費量特性について
溝口弘泰・福田美亮・長谷川勝男(水研セ水工研)
- 座長 酒井久治(東京海洋大学 海洋科学部)
- 10:00 212 高速双胴漁船の船体運動と波浪荷重について(第8報:局部波の寄与を考慮した2次元流体圧力の計算)
升也利一(水産工学研究所)
- 10:15 213 Excelを用いた沿岸漁船の最適設計
升也利一(水産工学研究所)
- 10:30 214 救命胴衣着用時の水中での浮遊姿勢と着心地について
川崎潤二(水産大学校), 村上由香里(JF全漁連), 下川伸也・酒井健一(水産大学校)
- 10:45 215 2そうシラス機船船曳網漁業における操業方法, 魚群探索について
福田美亮・溝口弘泰・山崎慎太郎・長谷川勝男(水研セ水工研)

座長 江幡恵吾(鹿児島大学水産学部)

- 11:00 216 活魚体への交流通電に対する魚体反応
土屋善史(長大水産), 山口恭弘(長大水産)
- 11:15 217 佐渡海域におけるバイオテレメトリーを用いた人工魚礁に蝟集するマアジの行動解析(その2)
伊藤靖, 三浦浩(財団法人 漁港漁場漁村技術研究所), 吉田司・中村憲司(株式会社 シャトー海洋調査)
- 11:30 218 大村湾小型底曳網漁業の漁場選択に関する研究
 西山嘉乃(佐賀県庁), 山口恭弘(長大水産), 北井悠佑・平江想・土屋善史(長大院生産)
- 11:45 219 漁業地域の減災計画策定支援手法について
渡辺浩二・成田賢仁(水産庁漁港漁場整備部防災漁村課), 浅川典敬・保坂三美(財団法人漁港漁場漁村技術研究所)

5月23日(日)午後

座長 伊藤靖(財団法人 漁港漁場漁村技術研究所)

- 13:00 220 タコかご漁具脱出リングのサイズとマダコの体重の関係
江幡恵吾・植草亮人・福留隆博(鹿児島大学水産学部), 立石章治・石田博文(鹿児島県水産技術開発センター)
- 13:15 221 東京湾小型底びき網におけるクラゲ分離漁具の開発
庄治紀彦・大畑聡(千葉県水産総合研究センター), 藤田薫(水産総合研究センター水産工学研究所)
- 13:30 222 漂流物による漁船の海難実態
下川伸也・川崎潤二・酒井健一(独立行政法人水産大学校)
- 13:45 223 鉛蓄電池における充電効率の評価方法
和田天志・森俊之・酒井久治(東京海洋大学)

座長 三上信雄(水産庁漁港漁場整備部)

- 14:00 224 小型底曳網漁業の生産性向上のための作業改善
渡辺一俊・佐伯公康・高橋秀行(水産総合研究センター水産工学研究所)
- 14:15 225 三重県鈴鹿市の小型底曳網漁業(板曳網漁業)における漁獲物選別作業の実態
佐伯公康・高橋秀行・渡辺一俊(水産総合研究センター 水産工学研究所)
- 14:30 226 三重県桑名市の小型底曳網漁業(桁曳網)における漁獲物選別作業の実態
高橋秀行・佐伯公康・渡辺一俊(水産総合研究センター 水産工学研究所)
- 14:45 227 持続的な水産資源開発のためのGISを用いた漁村集落調査解析
 平田更一(日本測量協会), 長野章(公立はこだて未来大学), 浅川典敬・伊藤靖(漁港漁場漁村技術研究所), 古屋温美・本松敬一郎(北海道大学大学院水産科学研究院)
- 15:00 228 水産物の風評被害の発生機構分析について
長野章(公立はこだて未来大学), 浅川典敬(漁港漁場漁村技術研究所), 古屋温美・本松敬一郎(北海道大学大学院水産科学研究院), 中森俊幸(公立はこだて未来大学)

座長 長野章(公立はこだて未来大学)

- 15:15 229 漁港施設の耐震設計におけるサイト特性の影響に関する研究(その2)
佐伯公康・三上信雄(水産総合研究センター 水産工学研究所), 西本敦範・藤井照久・大槇正紀(復建調査設計(株))
- 15:30 230 漁港施設における防災機能の評価とその発現に向けた対策について
三上信雄・佐伯公康(独立行政法人水産総合研究センター水産工学研究所), 浅川典敬(財団法人漁港漁場漁村技術研究所), 麓貴光(株式会社 水士舎)
- 15:45 231 屋根付岸壁における水産物の鮮度保持について その1~現地調査~
小玉茂義・小林圭・佐藤仁(寒地土木研究所), 岩倉祐二(アルファ水工コンサルタンツ)
- 16:00 232 屋根付岸壁における水産物の鮮度保持について その2~室内実験~
小林圭・小玉茂義・佐藤仁(寒地土木研究所), 鎌田昌弘(アルファ水工コンサルタンツ)